

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly Information



2020議会モニター

P2

6月定例会議 一般質問

P3～P9

(鈴木・渡辺・正村・堀切・立川・中田 6氏登壇)

議論白熱 賛否拮抗

P10

(選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書)

6人が登壇

6月定例会議(6月18日・19日)において、6人の議員が町政に対する課題や考えを質問しました。



渡辺洋一郎 議員 (P5)

- 1 高齢者の聞こえの支援
- 2 新生児難聴の早期発見と支援
- 3 聴覚に障がいがある方への対策
- 4 高齢者の孤立防止に向けた取り組み



鈴木 健充 議員 (P4)

- 1 新型コロナウイルス感染症に係る経済支援について



堀切 忠 議員 (P7)

- 1 町民参加手法の検証と再検討について
- 2 感染症対策について



正村紀美子 議員 (P6)

- 1 新嵐山スカイパーク再整備の課題と今後の取り組みについて



中田智恵子 議員 (P9)

- 1 大規模災害発生時に避難所を開設する際の感染症対策について



立川 美穂 議員 (P8)

- 1 ICT(情報通信技術)を活用し、町民の福祉向上を図る方策について

町政を問う

一般質問

6月定例会議

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。年4回開催される定例会議(6月、9月、12月、3月)で一般質問することができます。

2020 芽室町議会モニター 始動

池戸 朋弘さん



3年目になります。議会だよりやインターネット中継などを見ながら、町について考えていきたいと思っています。

雨山 理恵さん



昨年に続きモニターを務めさせていただくことになりました。議会について昨年以上に学びたいと思っています。

秋葉 秀明さん



町議会のしくみ・地域社会の発展などの知識を勉強させてもらいながら、色々な方々との意見交換が楽しみです。

今年度のモニターさんが決定し、委嘱状をお渡ししました。例年であれば第1回モニター会議を開催するところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間は会議開催を見送ることとし、議会ネット中継の視聴やコメント投稿などからスタートします。モニターさんを紹介いたします。

島部 弘子さん



議会モニター再任です。芽室町が住みやすい町になるように、議会モニターとして発信できればと思います。

篠原 淳一さん



昨年に続いて2回目のモニターですが、新しい視点で意見を発信しながら少しでも役に立てればと思っています。

佐藤 渉さん



某TV番組で、議会改革が進んでいる町として芽室町が紹介された。具体的内容はなかったのですが、私なりに学びたい。

太田 貢さん



違う視点の意見も聞きたく、2度目の議会モニターに応募しました。よろしくお願いします。

石田 幸治さん



今芽室町が抱えている課題をモニターや議員の皆さんと一緒に考え、今後の芽室町のために、一町民の意見として提言していきたいと考えています。

中田 照子さん



コロナ感染の影響で新生活様式への変化。今後も続くこの影響に、議会はどう取り組んでいくのか注目しております。

土井 慎悟さん



議会モニター3年目になります。議員さんと活発な意見交換ができることを、期待しています。

鈴木 美幸さん



新型コロナウイルスで新しい生活様式等、変化を前向きに捉え、議会モニターとしても気付けることがあればと思います。

鈴木 賢さん



今年も議会モニターさせていただきます。大変なご時世ですがしっかり町政を見守りたいと思います。

珠玖 謙一さん



先の見えない時代ですが、地域事業者の視点で議会活動を見守っていききたいと思っています。よろしくお願いします。

渡辺 洋志さん



議会モニター2年目です。今年はコロナの影響で集まる機会も少なくなりそうですが、今後の議会の発展を願っています。

渡邊しのぶさん



議会モニターを引き受けさせていただきました。町政に関心を持ち、モニター会議に参加したいと思います。

藤井 信一さん



議会モニターも3年目となりました。町政について更に興味を深めて意見交換していきたいと思っています。

福田 清貴さん



議会モニター2年目となり、さらに芽室町議会を理解できるよう積極的に参加していきたいです。

島山 大輔さん



モニター3年目となります。今年もさまざまな課題を皆さんと話し合い、意識を共有したいです。



鈴木 健充 議員

役場職員の皆さんにも、買物、飲食店利用など大いに町の活性化に貢献していただきたい

町長／緊急事態宣言時に自粛を要請していた立場としての懸念がありました。強制はできませんが、少数での飲食店を含めた利用を呼びかけます

質問 ①新型コロナウイルス感染症に対する町の各支援策の活用状況、及び実績への評価は。

②売り上げ減少がさまざまな業種に広がる中、飲食店以外の支援策の考え方は。

③長年にわたり、地元の経済を支えてきた中小企業に対する「継続的経済支援」の考え方は。

答弁 ①6月15日時点において、「緊急対策融資の追加・全額利子補給」は15件の申し込み、「飲食店応援クーポン配布事業」は6,558枚分の3,279千円が換金済み、「飲食店応援商品券販売事業」は4,367セットの販売、「中小企業等事業持続化支援金」は88件の申請に約26,300千円の交付を決定しました。町の取り組みへの評価について

は、町民、企業及び関係団体の方々がすべきものと考えますが、新型コロナウイルス感染症対策は長期的取り組みが避けられないため、自ら関係団体や事業者の声を傾聴し、国や道の支援が届かない部分への支援を検討する考えです。

②「緊急対策融資の全額利子補給」、「中小企業等事業持続化支援金」のほか、プレミアム率を20%とした「めむろプレミアム商品券販売事業」及び、販路開拓に併せて、テレワーク環境整備などを実施する事業者に対し、国の補助を除く事業者負担の2分の1、上限を25万円として補助する「小規模事業者持続化補助金（コロナ特別対応型）」を経済支援の第3弾として予定しています。国の第2次補正予

算案が可決され、家賃支援給付金や農林漁業者の経営継続補助金の創設など、新たな事業支援が示されたところですが、本町においては、それら個々の制度の詳細を把握しながら、適宜、関連支援策、独自支援策を現場重視で考えていきます。

③資金繰りが悪化した企業に対してスピード感をもって進める支援、経済活動を回復するための中長期的視点に立った支援、消費活動を継続的に進めていく支援など、地域社会や地域経済における影響が長期化し、状況が刻々と変化していくことを踏まえつつ、支援策を講じることが基本としています。事業者の実態を踏まえ、関連する団体や金融機関等との協力体制、役割分担などを十分協議し、新



厚労省ホームページより

型コロナウイルス感染症拡大の影響の軽減や、ウィズ・コロナともいわれる、新しい時代に合わせた経済スタイルへの支援などを推進する考えです。

質問 今後、宴会などでもできないような新しい生活様式に変わったとき、各事業所は自ら考え、自ら動かなければ生き残れないという状況が確実に来ると考えられる。それらの企業努力に対する新しい時代に合わせた経済スタイルへの支援についての考えはあるか。

答弁 災害のようなものであり、基本的には自助、共助、公助という順番はあります。新たな経済スタイルはコロナ特別対応型のイメージですが、非対面型のビジネスの転換など、企画を自助として考えていただき、提案いただいたものへの支援を考えています。

一般質問を終えて
鈴木 健充

中小企業への継続的経済支援を

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言は全面解除になりましたが、感染症拡大防止による生活及び経済への悪影響は、現在も続いています。

今回の町の取り組みは、速やかに対策本部を設置し、町民の個人的なさまざまな支援策を打ち出し、また、事業者への町独自の支援策なども行われているなど町長と共通認識が持てる議論であったと思います。

この大変な時期に芽室町で新規事業を立ち上げている事業者などや、長年にわたり、地元の経済を支えてきた中小企業は、新型コロナウイルスと向き合う「新しい生活様式」を取り入れながらも、事業展開となる温かい支えが必要な時です。

新しい時代に合わせた経済スタイルを事業者自らが努力をしないと発展はしません。

終わりの見えない状況において企業は自己努力と、町はこれからも継続的経済支援策を進めることを期待します。

町政を問う



渡辺洋一郎 議員

加齢性難聴者への支援は考えているか

町長／障害者総合支援法の基準対象外の方への支援に自治体間で違いがあることは課題であり、国に対する要望活動を行います

質問 高齢社会における聞こえのバリアフリー及び早期からの補聴器使用の重要性についての認識は。

答弁 耳から入ってくる声や音といった情報は非常に重要であり、「聞こえ」を取り戻すためにも、早期からの補聴器使用は、日常生活の質の向上を図る上で有効なものと認識しています。

新生児の難聴の支援は考えているか

町長／引き続き、子育て世代への支援に重点を置いた政策展開を進めますが、子育て政策全体のスクラップ&ビルドの観点も踏まえた議論を行います

質問 新生児の聴覚検査及び受検率向上に向けた取り組みの重要性についての認識は。

答弁 聴覚障害が早期に見られ適切な支援が行われた場合、音声言語発達等への影響が最小限に抑えられるなど有効な検査であると認識しています。本町は自己負担により検査が受けられ、受検率は100パーセントとなっており、聴覚発達上の課題があるケースは、医療機関への受診勧奨を行うなど、保護者に寄り添った相談対応とその支援に努めているところです。

聴覚障がい当事者の声を十分に聴き政策に反映させる考えは

町長／障がい者ご自身やご家族から寄せられる声をよく聴き、啓発活動を継続し、障がい者の自立と社会参加を継続して支援します

質問 ①聴覚に障がいのある方への情報発信とコミュニケーションを円滑に図ることについての認識は。

②聴覚障がいがある方への正確で必要な情報提供、町民に対する障がい理解を促進するための情報発信の取り組みは。

答弁 ①マスク着用により、情報入手手段の一つを失うことになり、コミュニケーション確保において大きな課題と考えます。

②正確で必要な情報は、その提供に努力すべきものです。障がい理解促進のため、避難体験会での意見交換なども実施しています。

高齢者の孤立防止に向けた今後の方策は考えているか

町長／近年進めてきた高齢者の生活支援体制強化の動きが停滞しないよう工夫や活動を継続する考えです

質問 ①新型コロナウイルス感染症の流行により高齢者の社会交流が減っている状況についての認識は。

②高齢者の孤立防止に向けた現状の取り組みは。

答弁 ①高齢者の身体機能、認知機能、生活機能の低下や気分の落ち込みにもつながり、憂慮すべき状況です。

②地域包括支援センターが、一人暮らしの高齢者や何らかの支援が必要な方々に電話で安否や健康状態等を確認しているほか、介護サービス等の提供事業者やケアマネージャーと連携した取り組みを進めているところです。

一般質問を終えて
渡辺洋一郎

新型コロナウイルス感染症の拡大がまだまだ収まらず、生活にも影響が出ている中、聴覚障がいのある方や高齢者への影響や今後の支援について質問しました。また聞こえの問題について、加齢性難聴と新生児難聴について、補聴器購入あるいは検査費用について助成制度の創設を求めました。

聴覚障がいのある方への支援については、根拠となる条例が今こそ必要ではないかと感じています。

今後議会内でも条例制定に向けて活発な議論が進んでいくよう取り組みます。

また、コロナの影響が続く中で、誰一人取り残さないまちづくりに向けて活動していきます。





正村紀美子 議員

新嵐山スカイパークになぜワイナリーが必要なのか

町長／ワイナリーは活用計画の理念に沿ったものであり、食と農という地域資源を活かした事業展開が期待できる

質問 ①6月定例会議初日の行政報告の真意とは。
②「公共未利用地の有効活用に関する指針」で規定する未利用地の定義にあてはまるのか。

③新嵐山スカイパークの他のエリアにおいても民間事業者への貸付をするのか。
④計画では町内外やインバウンドなどを対象としているが、今後の見通しは。
⑤新型コロナウイルス感染症による計画への影響は。
⑥企業版ふるさと納税による資金調達の検討は。

答弁 ①町民や議会へ十分な説明がない中で、許可した土地の動き（ワイナリー建設）があり反省しています。今後は情報共有、意見交換を行っていきます。
②新嵐山スカイパーク一帯の町有地は、町の観光やま

ちづくりの拠点として活用していきます。今後も行政財産として維持管理していく考えであり、未利用地にはあたりません。

③民間事業者の参入の可能性はありますが、現時点では施設整備を伴う事業展開は想定していません。
④新型コロナウイルス感染症拡大で観光産業は大打撃を受けており、計画で示すターゲットは国内及び近郊の方々に転換する考えです。
⑤財政面が受ける影響により、プランの内容やスケジュールを変更せざるを得ない想定もしています。

⑥本町に縁のある企業を中心に新嵐山の改革に協力いただけるよう取り組んでいます。

質問 なぜ新嵐山スカイパークにワイナリーが必要なの

のか。

答弁 食と農を生かした6次産業化に取り組むことは地域の資源を生かすことにも結びつくという考え方が基本です。民間事業者から提案があり、新嵐山スカイパーク活用計画の趣旨にも合致することから町の土地の使用を許可しています。

質問 民間事業者に使用許可した土地は、新嵐山運動広場の設置及び管理条例でソフトボール場として用途が規定されている。条例は廃止されていないのに、土地の使用を許可したことは問題がないのか。

答弁 利用実態がなく、申請があつたとしても利用できず状況にない土地です。

質問 新嵐山スカイパーク活用計画のプランを実施していくための法務の整理が



できていない中で物事が進んでおり、町の事業の進め方に問題がある。

答弁 できるだけ早急に条例の整理をします。

質問 土地許可を取り消し、法務関係の整理が終わってから物事を進めていくという考えはないのか。

答弁 さまざまな整理しなければならぬ事項については、真摯に受け止めて早急に対応していきますが、土地の使用許可を取り消し、工事を中断する考えはありません。

一般質問を終えて
正村紀美子

町の課題であつた新嵐山スカイパークの改革。新嵐山スカイパーク活用計画を策定し未来像を示したことは大きな前進です。しかし最も基本的なことである法務整理がされないうちに計画の実施が進んでいくことに違和感を覚えます。条例は住民を代表する議会の意思決定により制定される法規であり、条例を無視して事業実施はできません。条例の改廃について町長は「早急に対応する」と述べたものの、7月臨時会議においても条例提案がなく、対応が遅すぎます。

議会としては今後も所管委員会での調査を継続していきますが、全議員で活用計画について議論する会議も開催し、この問題に向き合っていきます。

町政を問う



堀切 忠 議員

新たな町民参加手法を考えているか

町長／パブリックコメントを補完する役割として、「緊急ホットボイス」、「めむろ未来ミーティングのテーマ化」を検討しています

質問 選挙公約とした「町民参加手法の検証と再検討」について、現時点での進捗状況と、課題、今後、どのように仕組みを構築する考えか。

答弁 十数年にわたって町民参加手続き等を進めてきましたが、時代の変化により、参加手法の形骸化、新

規手法の構築が必要か、成熟化社会における町民参加のあり方の検証という課題意識がベースです。パブリックコメントへの意見が少ないことが国及び各地方公共団体に共通の課題です。総合情報誌「すまいる」とホームページとの連動開始、一つのテーマに絞った「緊急ホットボイス」、「めむろ未来ミーティングのテーマ化」を実施し、オンライン形式での意見交換会も検討中です。

さまざまな手法の効果を見極めながら、情報共有や町民参加を進めますが、普遍的な方法はないことから、今後も随時、検証と検討を進め、参加機会の保障に努めていく考えです。

質問 条例では町民参加手続の実施予定及び前年度の実施状況を公表することになつていないのではないかと意見がない事業の公表方法があいまいではないか。

答弁 ホームページの入れ替えなどで、しっかりデータが移行していない部分もあり、早急に対応します。

インフルエンザの予防接種に対する補助を拡充する考えは

町長／現在の助成は経済的負担の軽減を目的としていないため、政策的な優先度は高くありません

質問 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないが、季節性インフルエンザの流行等と重なる可能性も考慮し、インフルエンザ予防接種の接種率を上げてはどうか。

答弁 インフルエンザワクチンは個人の希望で行う任意接種のワクチンであり、重症化しやすい高齢者、受験を控える中学3年生と高校3年生を助成対象としています。接種費用の公費負担拡充を求める意見が、保護者等からあることは十分認識していますが、助成の目的は重症化、受験時期の

児童生徒へのまん延予防であり、経済的負担を軽減するものではありません。新型コロナウイルス感染症との重複流行が医療崩壊の危険を招く可能性について否定はしませんが、季節性インフルエンザ予防接種の接種率を上げることが、新型コロナウイルス感染症対策に直結する方策とは考えていません。

今後も感染症に強い社会の構築に向けて、「新しい生活様式」に取り組む「新北海道スタイル」を実践することが重要であり、負担軽減策の必要性やインフルエンザ流行の状況、ワクチン接種の効果と接種率等も踏まえて、慎重に考えるべき課題と捉え、現時点での予防接種の補助拡充は考えていません。

質問 第2波、第3波に備えての準備が大事であり、町としてできることは今やるべきではないか。

答弁 子育て政策全体の中で財源も含めた検討が必要であり、現時点での政策的な優先度は高くありません。

一般質問を終えて
堀切 忠

芽室町民がまちづくりに関わる機会が少ない、また、関わりづらい仕組みなのでは？との思いから質問しました。ニセコ町のような徹底的な情報公開や、清水町や幕別町などで行われている「自分ごと化会議」などの取り組みに学ぶべきではないかと提案しました。引き続き、より多くの町民が町の施策に対し、自分ごととして関われるような仕組みづくりを求めています。

未だ収束しない「新型コロナウイルス感染症」ですが、冬場の季節性インフルエンザの予防接種は、コロナ対策に有効であるとの専門家の意見もあります。残念ながら十勝管内の他町村と比べても、補助内容が劣っています。今、芽室町としての「コロナ対策」、できることは何でもする姿勢が必要ではないでしょうか。



立川 美穂 議員

ICTは市民の福祉向上のために必要不可欠な公共インフラと捉え、活用方針と計画的な環境整備が必要ではないか

町長／ICT活用のための通信基盤の一つである光ファイバー整備について、国の補助制度の活用も含めて検討します

質問 ①平成30年3月の一般質問において、「住民サービス向上に向け、町の具体的取組み及び今後取り組みべきICT活用について幅広い分野において明示できるように次期計画策定に向け検討したい」との答弁があったが、第2期芽室町役場ICT計画策定にあたり、どのような幅広い分野の想定をし、検討を進めたのか。

答弁 ①第2期芽室町役場ICT計画は役場内(庁内)の情報システムを対象として今年度からスタートし

した。策定作業においては職場環境や業務改善に係る全職員を対象としたアンケートの実施や、ワーキンググループ等での議論を踏まえ、芽室町役場のICT環境の整備として、費用対効果など4項目の課題をクリアし、令和8年度の計画期間に、具体的施策を着実に実施することによって、町民満足度と職員満足度の向上につなげていく方向となったものです。芽室町役場ICT計画は、あくまでも役場内のICT推進を目的としており、計画に記載した具体的な施策実現から、幅広い住民サービスへと波及させていくことが現時点での考え方です。

②少子高齢化や人口減少は今後ますます進むことが予想され、教育、経済、福祉

など多岐にわたる分野において、課題解決のためにICTを活用することは有効ですが、ICTの活用は、課題解決のための道具・手段の一つであり、また、ICTに関する技術は日進月歩となっています。まちづくりの基本である、町民との情報交流・コミュニケーション構築のためには、感染予防対策を大前提としながらも、顔を合わせ、意見を交わすことも重要であり、当面は、ICT活用とコロナ前の手法の双方の推進の中で幅広い選択肢を模索すべきと考えます。今後、ICTの活用は必要不可欠なものとして認識しており、方針は定めませんが、各分野のニーズに合わせ、財源なども勘案しながら、毎年度の実行計画策定時に、ICT

活用しようとする事業を取りまとめ、取り組んでいく考えです。

質問 講師がZoomを使ってオンラインを通して対話をしながら健康体操をすることもできる。ICTはコミュニケーションのツールとして、特に高齢者の方に有効ではないか。

答弁 高齢者の中には、使える方も使えない方もいます。行政としては、ICT化も顔を合わせる手法も並行して、幅広く準備する必要があると考えます。



ICTを住民の身近な暮らしに取り入れ活用していく方法については、これまで何度か一般質問のテーマに採り上げています。

少子高齢化・人口減少など、これから日本全体で社会の縮小化が進み、地域の担い手不足が見込まれると言われています。

育児・介護などさまざまな背景を持つ人材が持続的に活躍できる環境がないと地域社会の存続が立ち行かなくなるという前提の下、町がまだ取り組めていない課題について過去の一般質問の中で町長と議論を交してきました。今回の一般質問ではコロナ禍をきっかけに一気に加速したICT導入の必要性について町長とは課題の共通認識を持てたと考えています。

一般質問を終えて
立川 美穂



中田智恵子 議員

災害発生は予測できない。避難所運営の見直しはいつまでに行うか。

町長／原案は作成済みであり、今後住民の意見も聴きながら年内にまとめ、訓練なども実施します

質問 ①感染症対策を考慮した避難誘導など避難体制の構築についての見解と具体策は。

②「3密」を避けた避難所運営の手法及びガイドライン作成についての見解と具体策は。

答弁 ①本町の地域防災計画では、災害の種別や規模、避難予想人数などを判断し、避難場所を町が指定すること、避難誘導については、災害対策本部が指定する町職員、消防職員、消防団員、警察官等が当たることとされています。しかし、感染症を考慮した対策は、現行の避難対策計画に反映しておらず、自然災害等の発生も想定した上で、早急に見直す必要があり、案を作成して関係団体等にご意見を伺っているところです。

②「避難所開設・運営マニュアル」を作成し、避難所の運営は、必要に応じて、避難者が委員となる避難所運営委員会を設置し、互いに協力しながら、運営の主体となつて取り組むことを基本としています。しかし、従来のマニュアルに基づく収容人数では、「3密」が揃いやすい状態になり、クラスター感染が発生する可能性が高いと考えられるため、国からの技術的助言などを参考に新型コロナウイルス感染症対策を反映した見直し作業を進めています。自助として、避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は、避難先を災害の危険性の少ない親戚や友人宅等への避難、平時の事前準備としてマスクや除菌シート、体温計などの備

えを周知する考えであり、避難所の入り口では感染が疑われる方を分け、専用スペースに案内する計画としています。また、日々の健康状態の報告及び確認を義務化し、感染が疑われる避難者については、検査体制の整備や、保健福祉部局、医療機関との連携体制を構築する考えです。さらに、健康な方であっても収容スペースとは別に、食食用スペースを設置し、隣同士の距離を空け、座る位置を対面にならないように配置し、食事時間をずらすなどして、密集・密接を避ける想定をしています。従来のマニュアルでの避難所運営は、地域住民主体で考えられていますが、感染が疑われる方の専用スペースは、町主体の運営となります。感染症



感染症対策をした避難所開設訓練(7/11)

質問 想定した収容者数を賄える感染予防策における備蓄の考え方は。

答弁 物資や資機材の捉え方、考え方、用意すべきもの、必要なものも全く変わってくるため、量も含めて再度整理をして予算提案につなげる考えです。

安心して避難行動に移せるように

一般質問を終えて
中田智恵子

平成28年台風10号による災害が記憶に新しいところです。いつ発生しても地域住民の大切な生命・財産を守るため、非常時にあっても実効性のある具体策を講じていただくことを求めました。新型コロナウイルス感染症対策として「3密」をどのように具体的に回避するのが強く求められます。

災害時は一人ひとりの行動がますます重要になるため、正しく恐れるために確かな情報を基に、適時適切な住民周知を行っていたら、改めて自分には何が必要か、助けを求める手法、移動手段をどうするかなど日ごろより防災について考える機会になればと思います。

7月臨時会議

町長提案の議案は全て全会一致で可決 議会提案の意見書は賛成多数で可決！

7月16日に開催された臨時会議では、財産取得など議案6件及び意見書1件を原案どおり可決しました。

行政報告 2件
報告 3件
財産取得 4件
契約締結 1件
条例改正 1件
意見書提出 1件
町長から「新型コロナウイルス感染症への対応について」、国の「特別定額給付金」の申請が98.4%であることや、町独自の「めむろ飲食店応援商品券」、「就学援助費」、「めむろ子育て特別支援金」など支援策の進捗状況が報告されたほか、十勝管内及び帯広市で9人の感染が確認され、身近での感染拡大が懸念されることとあり、引き続き「新しい生活様式」を十分踏まえた行動をお願いしたいとの行政報告を受けました。

意見書の提出

6月定例会議で陳情第4号が採択（議会だよりNo.215 P.9参照）されたことから、賛成した議員6名による意見書が提出されました。

「法制化による影響の懸念」、「国民的議論を抜きに法改正を求める内容」、「本件は議会基本条例に謳われる、議論を尽くして合意形成する理念が踏まえられていない」など反対の立場で梶澤議員、橋本議員、常通議員、広瀬議員から質疑・討論が、賛成の立場で中田議員、中村議員から討論がなされ、採決の結果9名の賛成により可決されました。



会議案第2号（意見書）の採決

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣 宛

令和2年7月16日提出

2018年2月に内閣府が公表した世論調査では、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓制度の導入に賛成・容認と答えた国民は66.9%となり、反対の29.3%を大きく上回った。特に多くの人が初婚を迎える30歳から39歳における賛成・容認の割合は84.4%にのぼる。

また同年3月20日の衆議院法務委員会において、夫婦同姓を義務づけている国は、世界で日本だけであることを法務省が答弁した。男女同権の理念に則り、2003年から日本政府に対して改善勧告を続けてきた国連女性差別撤廃委員会は、2016年3月の第7回及び第8回報告に対する最終見解において、改めて「女性婚姻前の姓を保持できるように夫婦の氏の選択に関する法規定を改正すること」を求めている。

2018年には選択的夫婦別姓を求める裁判が4件も提起されている。平均初婚年齢が30歳前後の現代においては、婚姻前に個人名で信用・実績・資産を築く人が増えている。改姓によってこれまで築き上げたキャリアに分断が生じる例や、法的根拠のない旧姓の使用で不利益・混乱が生じる例は多く、それを避けるために結婚を諦める人、事実婚を選ばざるを得ない人が一定数いることは事実である。家族のあり方が多様化する今、最高裁判決の趣旨を踏まえて議論を進め、適切な法的選択肢を用意することは、国および国会の責務であると考えます。

よって、芽室町議会は国および政府に対し、民法を改正し、選択的夫婦別姓制度を法制化することを要望する。

総務経済常任委員会

第7回 7月9日（木）
第8回 7月15日（水）
第9回 7月22日（水）
調査内容
新型コロナウイルス感染症対応光ファイバー整備事業について

国が新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた情報通信基盤整備のため、財政支援を手厚くしたことから、民設民営方式により、民間事業者が利用料金等で回収できない費用を町が負担することで整備を検討するとの説明が企画財政課からありました。現在、町内の光ファイバー整備率は88.6%となっています。

新嵐山スカイパーク活用計画の進捗状況について
商工観光課から、森の中で過ごす時間を商品化するため、指定管理者から「ワンデイキャンプ」の提案があり町として承認したこと、事業実施のため、パークゴルフ場の一部を休止し、これを機にキャンピングエリアの検証、パークゴルフ場縮小の検討も行うとの説明がありました。

委員会の進め方

新嵐山スカイパーク活用計画は、再整備を実施するにあたっての理念、方向を示した重要な計画です。これまで継続的に調査した中で、「新嵐山スカイパークは町民の財産であり、町民が利用したいと思える施設としての再整備であるか」、「計画を実施していく上で関係法令等との整合性は図られているか」などの問題点が浮かび上がりました。委員からは「他の常任委



委員会の進め方
新嵐山スカイパーク活用計画は、再整備を実施するにあたっての理念、方向を示した重要な計画です。これまで継続的に調査した中で、「新嵐山スカイパークは町民の財産であり、町民が利用したいと思える施設としての再整備であるか」、「計画を実施していく上で関係法令等との整合性は図られているか」などの問題点が浮かび上がりました。委員からは「他の常任委

政策討論会とは

議会基本条例に議員間討議の手法として位置づけられており、「町政に関する重要な政策及び課題等について議会としての共通認識を深め、政策形成能力の向上を図るため」に開催されます。

商工観光課からの報告

めむろプレミアム商品券販売事業（新型コロナウイルス対策）について、発行予定の1.5倍以上の申し込みがあったことから、別に予定していたプレミアム付商品券販売事業を見送り、今回の希望者全員に販売するとの報告を受けました。

総務経済常任委員会 所管勉強会を開催

7月9日（木）

町が現在策定中の芽室町農業振興計画について、農業政策や農地利用状況の実態、計画策定に関する今後の論点等について確認するため、農林課及び農業委員会事務局の職員を講師として、勉強会を開催しました。



勉強会の様子

厚生文教常任委員会

第7回 7月15日（水）
調査内容
R1公立芽室病院の決算状況について 他

令和元年の公立芽室病院の決算が確定し、診療料の減少等により総収益は初めて20億円を下回り、1億4,406万円の赤字となったこと、他会計からの繰入により、資金不足率は3%まで改善したとことなどの報告を受けました。

委員の質疑には、「病床利用率84.5%の目標達成に向け病院全体の士気を上げていく」、「コロナ病床についての説明を北海道から受けており、町民がいつ罹患するかかわからない状況であるため、地域の病院としてできる範囲で対応したい」、「診療や予防接種を受けやすい体制の整備について担当医師と相談している」などの答弁がありました。

審議した議案と各議員の賛否

令和2年7月臨時会議

※早苗豊議長は採決には加わりません。

種 類	議 員 名		黒田 栄継	中田 智恵子	橋本 和仁	堀切 忠	渡辺 洋一郎	梶澤 幸治	立川 美穂	中村 和宏	鈴木 健充	寺町 平一	正村 紀美子	広瀬 重雄	柴田 正博	西尾 一則	常通 直人	審 議 結 果	議 決 日	
	議 案 名																			
行政報告	行政報告																			
報 告	専決処分について報告の件(その1)																	受 理		
報 告	専決処分について報告の件(その2)																	受 理		
報 告	専決処分について報告の件(その3)																	受 理		
議 案	財産取得の件(新庁舎備品購入(その1))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	7/16
議 案	財産取得の件(新庁舎備品購入(その2))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議 案	財産取得の件(新庁舎備品購入(その3))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議 案	財産取得の件(食缶洗浄機購入)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議 案	芽室町小中学校情報通信ネットワーク環境整備工事請負契約締結の件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議 案	特殊勤務手当支給条例中一部改正の件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
会 議	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書提出の件		○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	原案可決	

議会白書

令和2年7月 延べ11時間01分活動しました！

会議名	日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議件	傍聴 人数	ネット中継 アクセス数
本 会 議	7 月 臨 時 会 議 7月16日 9:30~11:02	0:12	1:20	・専決処分について報告の件 他	2	(107)
全 員 協 議 会	第4回 7月16日 13:30~14:23	0:00	0:53	1. 合同委員会の運営について 他	0	(107)
常 任 委 員 会	第7回 7月9日 10:30~16:44	3:27	2:47	1. 新型コロナウイルス感染症対応光ファイバー整備事業について 他	2	(31)
	第8回 7月15日 11:00~14:13	1:29	1:44	1. 新嵐山スカイパーク活用計画について	0	(77)
	第9回 7月22日 9:30~10:26	0:02	0:54	1. 新嵐山スカイパーク活用計画について	1	25
	厚生 文教 第7回 7月15日 9:30~10:19	0:01	0:48	1. R1公立芽室病院の決算状況について 2. 6月定例会議の振返りについて	2	(77)
議 会 運 営 委 員 会	第6回 7月2日 9:30~10:31	0:00	1:01	1. 議会だより7月号について 2. 議会だより8月号の編集企画について 他	0	33
	第7回 7月9日 9:30~9:52	0:00	0:22	1. 令和2年芽室町議会定例会7月臨時会議の運営について 他	2	(31)
	第8回 7月30日 9:30~10:55	0:13	1:12	1. 令和2年芽室町議会定例会8月臨時会議の運営について 他	1	14
合 計	16:25	5:24	11:01		計10	平均55.8



表紙写真

夏の日差しの下、冷たい飲み物に笑顔の、りこちゃん(9歳)。弟の錦くん(8歳)・お父さん・お母さんの4人で森の中で食べるランチは、おいしいね～！

9月定例会議の御案内

1日	9:30~	初日
7日~9日・11日	9:30~	決算審査
15日・16日	9:30~	一般質問
24日	9:30~	最終日

議会傍聴で
芽室の未来が見える！



インターネット中継は
コチラから視聴できます。
(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に
議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

■芽室町議会には政策討論会という特定の政策について議員間で議論をするしくみがあります。議会基本条例に基づいてより良い政策に磨き上げることが目的、議論の見える化は町民の信頼にもつながっていきなす。

正村紀美子

■今年度は、18名の方々に議会モニターを務めていただくことになりました。

鈴木健充

新型コロナウイルス感染症拡大防止を考えながらの1年間となりますが、率直な意見をいただき、豊かなまちづくりを一緒に考えていきたいと思ひます。

中村和宏

■先月、戦没者追悼式に出席させていただきました。平和の大切さを再認識しました。

豪雨と大変な状況ですが、平穏な日を迎えることができることを祈るばかりです。



LINE@
友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト
▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai
公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai